

# むつみ

令和5年5月12日発行

発行 新川むつみ園

新川むつみ園 家族会

編集 広報委員会

〒939-0633

富山県下新川郡入善町浦山新2208

TEL (0765) 78-1131

<http://www.mutsumien.com/>

新川むつみ園

検索



## 少しずつ元の生活に戻る日々 みんないい顔しています！



令和5年度の初めにあたり

園長 高倉 健一

新型コロナウイルス感染症防止策として、これまでマスク着用が推奨されてきましたが、3月13日からは、基本的には個人の判断によることとなり、マスクなしで対応しているところが出てきました。また、5月8日からは、感染症法上の位置付けが2類から5類に見直されることとなりました。しかしながら、国の方針では、施設での感染発生時の検査の実施や職員のマスク着用の推奨、及び高齢者等のワクチン接種も当面継続されることとなっています。5類になったとはいえ、感染力が低下していないことから、新川むつみ園の施設・事業所では、基本的な対応を当面は継続いたしますので、ご理解のほどよろしく願います。

先般開催された理事会において、5年度の事業計画及び収支予算についてご審議をいただき、承認されたところです。食材料費や燃料費、光熱水費の高騰により、また人件費の負担増により支出が大幅に増え、一方で報酬単価は据え置きのため、5年度予算は赤字予算となり、預貯金に相当する「支払資金残高」により補填せざるを得なくなりました。昨年策定した「中期事業計画」で、このまま人件費率が高くなつていくと近い将来赤字になると予想していましたが、想定外の物価高騰等により、「近い将来」が「現実」になりました。このまま何の対策もしなければ、事業の継続に支障をきたす恐れがでてきますので、今後具体的な改善策を講じる必要があります。

また、事業計画において「日本一利用者の人権を尊重する施設・事業所」となることを重点項目として掲げることとなりましたので、その実現のために職員が一丸となり、これまで以上に利用者の皆さんを主体にした満足度の高い福祉サービスの充実に努めることいたします。

# 退職の挨拶

前企画総務課長兼事務局長

室均

平成27年4月より8年間に亘り事務長として勤めさせて頂き、去る3月末をもって退職させて頂きました。この間、園長はじめ多くの職員からご指導やご協力を賜り、与えられた業務を全う出来たことに感謝申し上げます。

思い出に残る業務として、昭和56年創設時の旧棟の改修事業を手掛けたことです。利用者の皆様に真新しい居住環境で快適にお過ごし頂いております。

また、コロナウイルスと言う未知なるものが現れましたが、未経験の感染症を職員一同が一致団結して克服したことです。国内の収束への工程が敷かれることに安堵と希望が湧



いて参ります。

皆様の一層のご活躍を念じております。有難うございました。

前入所支援第1課係長

亀田 千雅子

早いもので入職してからあつという間に日が経ち、未熟だった私をここまで育ててくさいました。利用者の皆様、保護者の皆様には深く感謝しております。そして、私を導いてくださった先輩方や、支えて下さった職員の皆様から感謝申し上げます。

これからは我が身を慈しみながら前向きにゆったり歩んで参りたいと思っております。

最後に、引き続き再雇用としてお世話になりますので、よろしくお願い致します。

## 長い間お疲れ様でした

定年退職おめでとうございます。長年のお勤め大変お疲れ様でした。仕事で困った時や悩んでいる時には親身になって話を聞いてくださり、ありがとうございます。亀田さんとは仕事以外にも、休憩時間などで話をさせていただき、すごく楽しい時間を過ごさせていただきました。これからも一緒に仕事ができることをとても嬉しく思います。引き続きよろしくお願ひします。(細川支援員 記)

ありがとうございました

# 新任の挨拶

企画総務課長兼事務局長

小堀 勇

例年より早く桜の開花を迎えるなか、この度、室事務長の後任として着任いたしました。

昭和56年に開設以来、42年にも及ぶ実績を有する当園に勤務することに少なからぬ不安と戸惑いを感じております。

事務長という重要な職務を頂きましたが、まだまだ知識、経験不足であります。1日も早く戦力になれるよう精一杯頑張りたいと思ひます。

世の中が常に変化していく中、利用者の皆様にとつて少しずつでも利用しやすい、また、快適で楽しく過ごせる環境となるよう、施設運営に携わる私たちとしても、一所懸命務めを果たしてまいりたいとの一念です。温故知新、皆様の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。新任の挨拶といたします。



## よろしくお願ひいたします

# がんばれ!フレッシュマン!!



入所支援第2課・生活支援員 澤井 侑子

利用者の皆さんが楽しく穏やかに生活できるよう支援していきたいと思ひます。日々のコミュニケーションや地域との繋がりを大切にしていきたいと思ひます。



企画総務課・栄養士 舟見 朋夜

利用者の皆さんに美味しく、健康的な食事を楽しんでいただけるよう、サポートに励みたいです。



令和5年度  
入所支援第1課支援方針

新型コロナウイルスの感染が始まってから約3年が過ぎ、新しい生活様式から少しずつ以前の生活に戻りつつあります。これから行事や交流会、活動が再開できる雰囲気になってきました。利用者の皆さんは勿論、職員にも仕方がないと諦めてもらっていましたが、ここからです。少しアレンジは必要ですが、感染対策をしたうえで活動をしていきたいと思えます。楽しい企画をみんなと考え、そして自分を楽しみましょう。

(小坂課長 記)

令和5年度  
入所支援第2課支援方針

「コロナ、怖いね、やーね」「何もできんにか！」と利用者の声が聞こえています。ようやく少しずつつ世の中の情勢が元に戻りつつあり、令和5年度は屋内外で楽しめる活動を見直して提供していきます。屋外の活動は重度化や高齢化に伴う体力の減退など窺える今日ですが、地域交流や買い物など、利用者さん一人ひとりに合わせた楽しい活動になるよう、一緒に笑っていききたいと思えます。

(山田課長 記)

入所支援課

むつみあいトピックス

～華やかでおいしい行事がたくさんありました～



ひなまつり



ケーキバイキング



新年会



黒東小学校6年生へ  
卒業プレゼント



節分



春・花開く



春ですなー  
お元気ですかー



# 地域生活 支援 センター 瓦版

かわらばん

利用者の尊厳と権利擁護  
(虐待防止)

## 令和5年度 地域生活支援センター運営方針

・感染者対策に配慮した支援  
・工賃アップを目指した取り組み  
・買い物学習や社会見学を実施

利用者の皆さんに日々、目標を持って日中活動に取り組んで頂いていますが、より励みや意欲を持って活動できるよう社会見学や買い物学習といった「地域に出る」活動を再開します。再開に際しては、感染者対策を十分行った上で実施したいと思っております。(板川センター長 記)



## 3月 ハートフルフェスティバル

コロナウイルス感染症の影響で延期していた入善町ハートフルフェスティバルが規模を縮小して開催されました。利用者で作った手芸品を出品し、目玉の新品としてフェルト生地を使ったキーホルダーを販売しました。予想外に好評で完売しました。



魚津市障害者連合会とのもちつき大会



## 令和5年度 坊丸の郷 運営方針

坊丸の郷では、感染症への対策を行い、制約のある生活の中にも安心して利用者の皆さんが主体的に活動に参加できるように取り組んでいきます。毎月、四季の移り変わりを感ずることのできる行事(お楽しみ会)や、外部講師による文化活動(書道・茶道・陶芸・リトミック)を再開します。また、1人年2回ですが、利用者さん個人に少しでも寄り添った、小グループでの短時間の外出を計画していきます。(中瀬施設長 記)

## 事務室通信

### 令和5年度 企画総務課運営方針

利用者の皆様の真の幸福に繋がるよう、日々変化する社会環境に敏感かつ柔軟に対処し、各部門との連携を深めて適切に業務が遂行できるように努めて参ります。また、コロナ禍後の感染予防対策、および利用者の健康管理は保健部門が担い、利用者が最も楽しみにしている食事は栄養士による管理のもと、腕によりを掛けて努めて参ります。(小堀事務長 記)

## 障害者相談支援センターNEWS

### 令和5年度 障害者相談支援センター運営方針

障害者と家族が安心して生活が送れるように、利用者の意思を尊重して、利用者本位のサービスが利用できるよう、家族や障害福祉サービス事業所、市町村と連携を取り、中立公平な相談支援を行います。障害者雇用促進の為、地域の関係機関と連携しながら更なる啓発活動に努めます。また、就労している障害者の方が職場で安心して働けるように、職場訪問や交流会により、働く本人の状況を把握しながら継続して働けるように支援します。(西村係長記)

## 家族会の窓

### 令和5年度 家族会活動方針

本年も利用者の皆さんの豊かな暮らしを目指し、新川むつみ園と家族会が協力し活動していきたいと思っております。(山本家族会会長 記)

### ◎令和5年度 家族会活動内容

- ★ 毎月の除草・掃除ボランティア
- ★ 全体草刈りボランティア
- ★ 家族会講演会

### ★ 勉強会開催

- ・大切な人へのメッセージを書いてみよう「付言事項」
- ・相続の準備は必要?
- ・成年後見申立て
- ・サポートノート作成

### ★ 育成会大会(高岡・氷見エリア大会)開催

- 日時 6月25日(日) 10時~12時30分
- 場所 氷見市芸術文化館
- 式典・全体研修会

「地域共生社会の理想と現実」

講師 綿 祐二氏  
昨年引き続き綿先生のお話で、今気になっていることの参考に。

バスが出ます。皆さん一緒に参加しましょう。

### ★ 育成会下新川エリア会

- ・ 相続個別相談会開催

### ★ 育成会施設支部会開催



## 令和4年度 新川むつみ園福祉講演会

### 演題 「利用者支援において気付きや理解するために 「不適応行動へのアプローチ方法」

令和5年3月2日に独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の松浦敏幸氏を講師にお迎えして、福祉講演会を開催しました。コロナ禍においての新しい生活様式は利用者の皆さんを取り巻く環境や支援に多くの影響を与え、変化に対応できず不適応行動につながる利用者さんがいました。利用者の皆さんの

心情に対しての「最初の気付き」や、不適応行動が起こった時の支援員の「最初の心構え」を知ること、利用者支援の原点に立ち返り、心情を理解した支援の在り方を考える機会となりました。

課題となる行動には視点を改めてみることで必ず理由（原因）が見えてくることや、根拠の曖昧な支援は利用者さんを混乱させてしまうため、整理した上で職員間の統一した支援を徹底することが大切と学びました。また、その第一歩がアセスメントであり、その人を知ること、利用者本位の統一した支援のしつかりとした土台ができることなど、基本的な支援の大切さを改めて考えさせられました。

同じ知的障害者福祉の現場で支援をしておられる松浦氏の講演は、納得でき、日常の支援に活かせる事が多くありました。利用者の皆さんが、安心して生活が送れるように、今回学んだことを早速具体化していきたいと思えます。（高木係長 記）

講師  
**松浦 敏幸**  
(まつうら としゆき)

のぞみの園4年目。  
(4年間、強度行動障害寮で生活支援員として勤務)

以前は、別法人の生活介護（入所）で生活支援員として8年間勤務。通所の生活介護でサービス管理者として5年間勤務。

群馬県強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）での講師経験あり。



## 救急救命講習会

3月14日に富山県立中央病院救命救急センター部の堀川慎二郎医師を講師にお招きし、支援に即した救命処置についての講習会を開催しました。

まずは、映像を見ながら傷病者の状態を言葉で伝える練習をしました。言葉で説明するのは難しく、伝えるポイントや緊急時にどこに注目をして救急に伝えるかを教わりました。最低限すべきこととして、意識や呼吸の確認をすることが大切で、それから冷静に傷病者の状態を伝え



堀川慎二郎  
医師

る事を学びました。

次に、心肺蘇生やAEDの扱い方などを体験しました。心肺蘇生では胸骨を押す速さや強さ、AEDの扱い方では扱う際の注意点を教わり、その後、二人一組で心肺蘇生を行いながらAEDの準備をする体験をしました。1人で心肺蘇生を行い続けるには体力が必要で、周りに助けを求め、協力して救命処置をする大切さを知りました。

今回の研修会では、救命に対する理解を深めることができ、もしもの時に適切な救命処置を協力して行うことの大切さを学ぶことができました。利用者の皆さんに安心して生活をしていただけるようスキルの向上を図ってまいります。（森田支援員 記）



心臓マッサージ訓練



AED使用訓練

**季節のあゆみ** 行事予定

- 5月 入善ライオンズクラブとの交流会  
北陸電力園外環境美化
- 6月 浦山新地区福寿会との交流会
- 7月 三施設交歓球技大会  
黒東小学校との七夕集会  
河祭り
- 8月 納涼盆踊り

※新型コロナウイルス感染状況に応じて延期、規模縮小、または中止の場合もあります。

ご協力ありがとうございました  
**ボランティア活動**

- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会
- ・入善理容組合
- ・入善ライオンズクラブ
- ・マックスバリュ
- 黒部カラーレ前店  
(順不同・敬称略)

ご寄付ありがとうございました  
**まごころの花束**

- ・廣田 政義
- ・村椿 光子
- ・入善ライオンズクラブ
- ・マックスバリュ
- 黒部カラーレ前店  
(順不同・敬称略)

**令和4年度苦情解決制度  
第三者委員会の結果報告**

苦情解決制度第三者委員会を令和5年3月10日に開催しました。2名の第三者委員の方に参加をいただき、各部署に寄せられた苦情及びその解決状況について、各管理者から報告をすると共に意見交換をしました。今年度の苦情(要望含む)は、サービスの質や量に関するものが4件寄せられました。委員の方々より、苦情後の対応において、今後の参考になるご意見を多数いただきました。客観的な視点からの意見は、サービス提供のあり方や標準化について、見直すきっかけとなり、当法人にとって大変有意義な機会となりました。また、利用者一人ひとりに応じた、より分かりやすい説明を心掛けることの大切さを改めて考えさせられる機会となりました。

貴重なご意見をお寄せいただきましたことに感謝を申し上げます。苦情は「宝」と捉え、今年度いただきましたご意見を基に、今後の新川むつみ園における福祉サービスの質のさらなる向上に役立てていきたいと思います。

(岸岡係長 記)

一緒に働きませんか?  
**職員募集!!**

- 【正規職員】
  - ・生活支援員
  - ・看護師
  - 【准職員】
  - ・生活支援員
  - ・看護師
  - ・職業指導員
  - ・世話人(グループホーム)
- 詳細は ☎78-11131  
(企画総務課) まで
- ホームページも  
ご覧下さい



ホームページも  
ご覧下さい

シリーズ ～地域とつながる～

**入善ライオンズクラブの皆様**

～大漁鍋 コロナ禍のため代表お一人の来園でした。来年は皆さんで鍋を囲めますように～



**マックスバリュ**

**黒部カラーレ前店の皆様**

～たくさんの美味しいプレゼントに利用者も大喜びです～



**入善理容組合の皆様**

～素敵にカットしてもらい、スッキリ!! 気分も一新～



**編集室から**

桜満開の下、令和5年度がスタートしました。今回の紙面には各部署の運営方針が掲載されています。一人ひとりが受け身で指示を待つのではなく、それぞれにそれぞれの能力を全開して動くとき、組織はもっとも活気に溢れるそうです。人と関わる仕事、人と支えあう仕事として、チーム力向上は必要不可欠です。利用者さんにはもちろん、ご家族、職員間においても「何を伝えたいか」ではなく、「どう伝わったか」というコミュニケーションの本質に立ち返り、またそれらを本誌でも表現できるように、皆様ご期待ください。

(北村 記)